

6 神 医 第 1668 号
令和 6 年 12 月 3 日

神奈川県病院協会
会長 吉田 勝明 様

神奈川県医師会
会長 菊岡 正和
(公印省略)

令和 6 年度第 2 回地域医療構想普及促進事業研修会
～いま話題の地域包括医療病棟を知ろう～ の開催について

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、標記研修会の開催にあたり、貴会の共催ならびに講師推薦についてご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。改めて、研修会の開催にあたりご案内申し上げます。

今回研修会のテーマである地域包括医療病棟は、高齢者救急への対応を目的として、令和 6 年 4 月に新設されました。今後、本病棟の稼働が促進されるためには、病院や在宅医療、介護関係者など地域の関係者の理解が重要です。本病棟の機能や役割を共有し、各地域が目指す医療・介護体制の検討を推進していきたいと考えます。

つきましては、貴会関係役員等のご参加をお願い申し上げますとともに、貴会会員病院の管理者や、地域連携室担当者など、広くご参加いただけますよう、ご周知の程宜しくお願い申し上げます。

記

- 1 研修会名：令和 6 年度第 2 回地域医療構想普及促進事業研修会
- 2 日 程：令和 7 年 2 月 6 日（木） 19：00～20：30
- 3 テーマ：地域包括医療病棟の役割を考える
- 4 参加者：県内各医療圏の医療・介護従事者（地域医療に携わる医師・看護師・事務職、介護職等）、行政職

※申し込み方法など、詳細は別添開催要領をご参照ください。

問い合わせ先
地域医療課 担当：岩田
横浜市中区富士見町 3-1
TEL 045(241)7000 FAX 045(242)9148
E-mail g-iwata@kanagawa.med.or.jp

いま話題の地域包括医療病棟を知ろう

趣旨

令和6年度診療報酬改定において新設された「地域包括医療病棟」は今後も増加が予想される高齢者救急の受け皿として期待されています。急性期の初期治療と同時に早期からのリハビリテーションを提供することで在宅復帰を推進する、「急性期」と「回復期」双方の性格を有しています。一方で、定められた施設基準のハードルは高く、期待されたほどに転換が進んでいないのが現状です。そこで本病棟の機能や役割について関係者で共有し、各地域が目指すべき医療体制について検討を推進していきたいと考えます。

プログラム

1 「地域包括医療病棟が地域で期待される役割」

神奈川県医師会理事 小松 幹一郎 先生

2 「地域包括医療病棟への転換の実際」

① 回復期病床からの転換

神奈川県病院協会常任理事/クローバーホスピタル理事長 篠原 裕希 先生

② 急性期病床からの転換

神奈川県病院協会副会長/麻生総合病院病院長 菅 泰博 先生

日時・申込方法

- ・日時 2025年 **2月6日**(木) 19:00-20:30
- ・開催方法 webと集合(県総合医療会館1階会議室)
- ・参加者 県内医療関係者、介護関係者、行政関係者
- ・申込方法 下記URLから、お申込ください。

<https://forms.gle/3dHkLwUNpE2MDKpC8>



※申込みフォームからの申込入力難しい場合は、

メール(g-iwata@kanagawa.med.or.jp)またはFAX(045-242-9148)にて、お申込みください。

(5点明記お願いします) ①2/6地域医療構想普及促進研修会申し込み、②職種、③ご氏名、

④医療機関名、⑤連絡先電話番号

問合せ先 神奈川県医師会地域医療課 担当:岩田 tel045-241-7000

共催 公益社団法人神奈川県医師会/公益社団法人神奈川県病院協会/神奈川県保健医療部医療企画課